

水通信

第161号
平成30年
10月30日
発行



「水通信」は、水資源機構全体や中部管内における取り組みに関する情報を、中部管内の関係者（関係県、関係市町村、関係土地改良区、およびその他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

目次

☆【[巻頭言](#)】

- 中部支社副支社長 青井 保男

☆【[中部管内水源情報](#)】

☆【[新着情報](#)】

[中部支社](#)

- 地域のイベント案内「名古屋城秋まつり」開催中

[豊川用水](#)

- 豊川用水通水50周年記念式典を開催しました

[木曽川水系連絡導水路](#)

- 家族を職場の仲間を大切な人の命を守ることにつながる普通救命講習会を実施

[愛知用水](#)

- 「安全な水とトイレを世界中に」。日本福祉大学附属高等学校で出前講座
- JA あぐりタウンげんきの郷で「愛知用水と水源の森」が開催されました
- 11月11日（日）開催「八百津町産業文化祭」

[木曽川用水](#)

- 技術を受け継いで。木曽川右岸緊急改築工事に係る通水切替えを実施
- 木曽川用水総合管理の仕事を知りたい。祖父江中学校1年生が来所
- 木曽川の環境を守る川と海のクリーン作戦に参加しました

[岩屋ダム](#)

- 岩屋ダムで職場体験学習
- 完走の後の鮎は格別。第7回馬瀬あゆマラソン大会

[阿木川ダム](#)

- 湖畔の環境を守る「釣り糸・針回収事業」に参加しました
- 台風24号の降雨に伴う、今年3回目の防災操作を実施しました

[徳山ダム](#)

- 国道417号横山鶴見バイパス開通で徳山ダムがより近く
- 旧交が温まる「徳山ふるさと会」開催
- 10年以上続く、揖斐川町の子供たちによるコア山植樹活動

[長良川河口堰](#)

- 水辺の環境保全に向けて、水質事故対応訓練に参加しました

[味噌川ダム](#)

- 準絶滅危惧種「ヤマトイワナ」を守る産卵場造りに協力

[三重用水](#)

- 三重用水の役割を子供たちに。四日市市立桜台小学校で出前講座
- ホタルの里「赤川」を清掃活動

☆【[イベントカレンダー](#)】

- 平成30年11月

巻頭言

【中部支社副支社長 青井 保男】

平成30年も余すところあと2ヶ月となりました。今年の干支である「戌」は「滅」と同義語という説があり、戌年には大災害が発生しています。

今年を振り返ってみても、2月に日本海側を記録的な大雪が襲い、6月に大阪府北部で震度6弱、9月に北海道胆振東部の震度7の大地震が発生し、7月には西日本豪雨、9月10月に台風21号、24号が日本を縦断するなど、各地で大きな被害をもたらしました。

特に、西日本豪雨では、岐阜県にも大雨特別警報が発令され、岩屋ダム管理開始以来(42年目)初めての特別防災操作を実施しました。これによりダム下流の河川流量の低減が図られ、ダム放流による被害は発生しませんでした。

これからも常に自然と向き合う心を育て、管理している施設を適切に運用し、渇水・洪水被害が発生しないように努めていく所存です。皆様のご指導ご鞭撻、よろしく申し上げます。戌年に起きた災害をまとめてみました。併せてお読みください。

■戌年に起きた災害

年	災害	
1910 (明治43)	関東大水害	死者・行方不明者 847名
1922 (大正11)	島原大地震 (M6.9)	死者 26名
1934 (昭和9)	室戸台風	死者・行方不明者約 3,000名
1946 (昭和21)	昭和南海地震 (M8.0)同時に津波発生	死者 1,362名
1958 (昭和33)	狩野川台風	死者・行方不明者 1,269名
1982 (昭和57)	昭和57年7月豪雨 (長崎県)	死者・行方不明者 439名
1994 (平成6)	平成6年台風26号	死者 3名
	三陸はるか沖地震 (M7.6)	死者 3名
2006 (平成18)	平成18年豪雪	死者 152名
2018 (平成30)	1～2月 平成30年豪雪 (北陸豪雪、福井豪雪)	死者 18名
	6月 大阪府北部地震 (M6.1)	死者 5名
	7月 西日本豪雨	死者 221名 行方不明者 9名
	9月 台風21号	死者 13名
	9月 北海道胆振東部地震 (M6.7)	死者 41名

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける10月30日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曾川水系の4ダム(牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム)の10月降雨量は平年を大きく下回る状況(平年比32%～48%)となっておりますが、4ダム合計の貯水率は96%(平年比111%)と、平年を上回るほぼ満水の貯水状況で推移しています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの10月降雨量も、平年を大きく下回る状況(平年比39%～48%)となっておりますが、豊川用水全体(宇連・大島ダム、各調整池)の貯水率は95%(平年比112%)と平年を上回るほぼ満水の貯水状況で推移しています。

中部管内各ダムにおける10月の降雨(平年比)及び利水貯水率(10月30日現在) 単位:(%)

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	43	48	32	41	39	48	29	60
利水貯水率	89.7	100	100	100	95.4	99.0	91.6	100

・中部支社管内の各ダム貯水状況等は、中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <http://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報 <http://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新） <http://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

http://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessui_jyohou29-1.html

新着情報

中部支社

○ 地域のイベント案内「名古屋城秋まつり」開催中

名古屋城では、11月25日まで人気のイベント「秋祭り」を開催中です。期間中、重要文化財の「東西・西南・西北隅櫓」三櫓が特別公開されるほか、二之丸広場では、「名古屋おもてなし武将隊®」、「徳川家康と服部半蔵忍者隊®」のパフォーマンスや、開設された「忍者やサムライ&忍者街道」で、将軍や忍者をイメージしたグルメを楽しむことができます。

またその他にも、「城の音楽祭」と題したコンサートやエリア最大級の規模を誇る菊花展「第71回名古屋城菊花大会」（～23日祝）など、子どもから歴史ファンまで楽しめるイベント満載です。

秋の散策のついでにお出かけになってみてはいかがでしょうか。



豊川用水総合事業部

○ 豊川用水通水50周年記念式典を開催しました

9月29日（土）、豊川用水通水50周年記念事業実行委員会（実行委員長 大村秀章愛知県知事）は、愛知県豊橋市において来賓及び関係者約1,000名の出席のもと、「豊川用水通水50周年記念式典」を開催しました。

本式典は、昭和43年6月1日に豊川用水が全面通水して今年で50年を迎えたことを契機に、豊川用水に携わられた先人達の偉業とこれまでの歩みを振り返り、水源地域への感謝の気持ちを新たにするとともに、未来を担う若い世代にも豊川用水の大切さを認識してもらい、上下流域の交流をさらに深めることを目的に行われました。



■ 実行委員長大村愛知県知事の挨拶



■ 大村知事から感謝状の贈呈

式典は二部構成で行われ、第一部は、近藤寿市郎氏の豊川用水構想の提唱、農林省による事業着手から今日に至るまでの経過を上映したオープニングビデオに始まり、主催者挨拶、地元選出議員など来賓の方々からそれぞれ祝辞を頂きました。

その後、豊川用水に貢献された水源地域等の各団体及び土地改良関係者への感謝状贈呈並びに



■豊丘高校和太鼓による演奏



■閉会の辞（吉林静岡県副知事）

各種表彰、さらに、次の50年を担う若者代表として愛知県立渥美農業高等学校の生徒から「豊川用水を造り地域の農業を発展させた先人達に感謝しつつ、水と農業を受け継いで未来へつなげていきたい。」という決意を述べ、式典の第一部を締めくくりました。

第二部は、国の重要無形文化財に指定され、奥三河に代々伝わる神事である東栄町御園地区花祭（みそのちくはなまつり）保存会による「花祭」の演舞、愛知県出身のラジオパーソナリティで書家の矢野きよ実さんによる「水の歌」の朗読、愛知県立豊丘高等学校和太鼓部による和太鼓の演奏が行われました。

式典の締めくくりとして、吉林静岡県副知事による挨拶をもって閉会となり、記念式典を盛大に執り行うことができました。

今後も、引き続き各種イベントにおけるパネル展示等やPR活動を積極的に行っていくとともに、各種取組を通じて豊川用水を次の世代へとつないで参ります。

木曽川水系連絡導水路建設所

○ 家族を職場の仲間を大切な人の命を守ることに繋がる普通救命講習会を実施

9月28日（金）、所内に岐阜南消防署から講師を招き、普通救命講習会を実施しました。救命講習は日本で消防本部によって行われている応急処置の技能講習のことです。

講習会では、心肺停止時の心肺蘇生術としての胸部圧迫や人工呼吸の方法、AEDの機械操作、出血時の止血方法や気道に異物が詰まったときの除去方法を学びました。

傷病者にとって、119番通報して救急隊が到着するまでの間、一般人である私たちが身体の血流を確保することが非常に大事であるとのことでした。

ところで、3時間の講習の途中、消防署に救急の連絡が入り、講師として来所していた救急隊員の半分が現場に呼び出される事態が起こり、この講習の重要性が一層リアルに感じられました。

今回、この講習会で学んだ救命法を、家族や職場の仲間、また多くの人の万が一の際に、役立てたらと思っています。



■心臓マッサージ



■人工呼吸

○ 「安全な水とトイレを世界中に」。日本福祉大学附属高等学校で出前講座

2015年、国連で Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標。以降 SDGs) が採択されました。これにより、世界が2016年から30年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標があげられていますが、その中に「目標6：安全な水とトイレを世界中に」があります。

愛知用水総合管理事務所は、日本福祉大学附属高等学校からこの SDGs に関する出前講座の依頼を受け、2年生24名(教師1名)に、水とは何か(水循環について)を手始めに、愛知用水の役割、そして海外における水を巡る問題について2時限(100分)の講義を行ってきました。

特に海外での水を巡る話では、蛇口をひねれば簡単に水が出てくる状態が日常の生徒たちには驚きの連続だったようで、水を使うために解決しなくてはならない問題があること、多くのエネルギーが注ぎ込まれていることを知る場となったようです。

生徒たちは今回の出前講座をもとに、SDGsの目標のひとつである「安全な水とトイレを世界中に」のレポートを作成するそうです。どんな内容になるのか楽しみです。



■ 高校2年生を対象にして行った出前講座(右)

○ JA あぐりタウンげんきの郷で「愛知用水と水源の森」が開催されました

10月13日(土)、愛知用水土地改良区が主催する「愛知用水と水源の森」がJAあぐりタウン「げんきの郷」芝生広場(大府市)で開催されました。

この行事は一人でも多くの人に「愛知用水」、「水源涵養林」の重要性はもちろんのこと、半世紀の長きにわたって恩恵を受けてきた愛知用水の水源地である長野県木曾郡王滝村・木曾町の魅力を知ってもらおうと、当事務所のブースでは、牧尾ダムの流木の無料配布、パネル展示を行いました。

当日はお天気にも恵まれ、イベントは今年も大好評。準備した流木のほとんどがなくなりました。

(詳細はこちら)

[http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e\(tayori\)/20181023\(suigennomori\)/01.html](http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e(tayori)/20181023(suigennomori)/01.html)

○ 11月11日(日)開催「八百津町産業文化祭」

11月11日(日)、岐阜県加茂郡八百津町ファミリーセンター特設会場において、八百津町産業文化祭実行委員会が主催する「第39回八百津町産業文化祭」が開催されます。

これは、八百津町の匠の技、地元のグルメなどなどが集うイベント。当管理所は、下流の町から愛知用水のPRを目的として出店。愛知用水の水源・王滝村の間伐材を利用した「コースター」作り及びパネル展示を行う予定です。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

(昨年の様子はこちら)

[http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e\(tayori\)/20171112\(yaotutyo-sangyo-bunkasai\)/01.html](http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e(tayori)/20171112(yaotutyo-sangyo-bunkasai)/01.html)

○ 11月11日開催「東郷町文化産業まつり」

11月11日(日)、東郷町イーストプラザいこまい館他において、東郷町文化産業まつり開催委員会が主催する「第35回東郷町文化産業まつり」が開催されます。

当管理所では、愛知用水のPRとして、牧尾ダムの流木の無料配布及びパネル展示を行います。流木の配布は、毎年、大変ご好評をいただいています。このチャンスをお見逃しなく。

(昨年の様子はこちら)

<http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e%28tayori%29/20171115%28to-gobunkasanngyo-maturi%29/01.html>

木曾川用水総合管理所

○ 技術を受け継いで。木曾川右岸緊急改築工事に係る通水切替えを実施

今年度秋からの改築工事のため、左岸幹線下吉田鶴之巣において、通水の切替作業を実施しました。

この作業は、10月9日早朝から12日までの4日間にわたり切替作業をおこない、作業にあたった職員の半数が初めて経験する作業でしたが、事前打合せ、経験職員からのサポートにより、利水に支障なく完了することが出来ました。併せて、貴重な技術、精神もこれからを担う職員に伝承できたものと思います。

今回の通水切替作業により、本管の更新工事が本格的に着手されます。



■ 4日間にわたって行われた通水切替作業



■ この作業により技術が伝承された

○ 木曾川用水総合管理の仕事を知りたい。祖父江中学校1年生が来所

10月4日（木）、「地域産業調査 祖父江を見つめて」をテーマに持った稲沢市立祖父江中学校1年生10名の訪問を受けました。

概要説明と施設見学を終えた後、機構の仕事が祖父江町の住民生活をどのように支えているのか、携わっている仕事の難しい点などのインタビューがあり、ひとつひとつの質問に職員が丁寧に回答しました。これにより水資源機構の仕事が祖父江町の生活と関わりが深いのか、理解できたものと感じています。

この学習を通じて、仕事をする意義や限りある水資源の大切さについて生徒達の理解が深まったと思います。



■ 職員の説明に熱心に耳を傾ける中学生たち

○ 木曾川の環境を守る川と海のクリーン作戦に参加しました

10月14日（日）、木曾川の清掃活動に参加しました。この事業は、13、14日に木曾川大堰上流のサリオパーク祖父江において開催された「稲沢サンドフェスタ2018」に併せて、企画されたもの。

当日は、イベント開催前の早朝にもかかわらず、稲沢市などから64名が参加し、約1時間にわたり木曾川左岸のサリオパーク祖父江から木曾川大堰に向け清掃活動を行いました。

短時間でしたが、軽トラ1台に1,020kgのゴミを回収することが出来ました。木曾川用水総合管理所では、木曾川の美化を維持するため、これからも清掃活動に参加してまいります。



■ ゴミ拾いに参加する職員たち

岩屋ダム管理所

○ 岩屋ダムで職場体験学習

9月27日、28日の2日間、地元中学生が岩屋ダムで職場体験学習をしました。職場体験学習とは、中学生が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。

早速、ダム流入量の予測計算や、ダム堤体、周辺施設の点検などを体験してもらい、ダムには様々な仕事があること、また働くことの意義や達成感を体験したようでした。以下は寄せられた、職場体験の感想です。

（職場体験学習を終えて）

僕は2日間、岩屋ダムで働きました。施設見学を兼ねた安全点検や、金山湖の巡視、台風24号の影響による降雨量とダムへの流入量の予測や、ツイッター投稿も行いました。どの仕事も楽しく、職員の方々も優しくしてくださいました。2日間ありがとうございました。（中学生 S）



■ 地元中学生の職場体験学習の様子



■ ヘルメットをかぶって周辺点検

○ 完走の後の鮎は格別。第7回馬瀬あゆマラソン大会

10月7日（日）に第7回馬瀬あゆマラソン大会が開催され、岩屋ダムから職員3名が参加しました。岩屋ダム上流に位置する馬瀬の里山を走るこのマラソンは、最長でも10.5kmと距離は短いものの坂道の上下りを繰り返す厳しいコース設定となっています。

脚筋力が問われる厳しさがありますが、秋へ向かう里山の風景が楽しめ、走り切ったあとは格別の爽快感に包まれます。

このマラソン大会には、下呂市外からも多くの参加者が集まり、我が事務所からの参加した職員も（10.5kmと5kmにエントリー）も無事完走することができました。

会場では、鮎の味コンテストで日本一を獲得した実績のある鮎の塩焼きを食することもできる

「馬瀬あゆ祭り」も同時開催され、おおいに盛り上がりました。

脚に自信のある方も、そうでない方も、里山の空気と馬瀬の食材を堪能しに、次回の大会に参加されてはいかがでしょうか。



■市外からも多くの参加者が



■自然を肌で感じられるのも魅力

阿木川ダム管理所

○ 湖畔の環境を守る「釣り糸・針回収事業」に参加しました

10月3日（水）、阿木川ダム湖畔で東濃獣医師会主催の「釣り糸・針回収事業」が開催されました。この事業は、湖畔に残された釣り糸や針が野生動物へ害を及ぼすことを防ぐ自然環境保全を目的としたもので、獣医師会会員、ダム管理所や地域の方々（ビジョン推進協議会の会員）など、計44名が参加しました。

当日は、秋らしいさわやかな天気にも恵まれ、参加者は4つのエリアに分かれ、釣り糸や釣り針はもちろんのこと、散在するゴミの回収も行いました。



■秋晴れの下、釣り糸、針を回収



■回収したゴミの中にはリールも

○ 台風24号の降雨に伴う、今年3回目の防災操作を実施しました

阿木川ダム流域では、9月30日8時頃から、台風24号の影響により雨が降り始め、翌10月1日2時までの総雨量は約100.3mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。この降雨により、30日の22時54分に、ダム流入量は洪水量（120m³/s）に達し、ダム流入量が最大（130.36m³/s）となった同日23時8分時点では、ダム流入量の約15%を貯留しました。

阿木川ダム防災操作（洪水調節）により、約5万m³の水をダムに貯留したことから、ダムへの流入量が最大となった時刻におけるダム下流の河川水位は、阿木川ダムがない場合と比べ、大門口地点で約0.11mを低減したものと推定しています。

9月4日の台風21号に続き、今年3回目の防災操作（洪水調節）となり、まもなく洪水期を終えるところですが、365日24時間適確な防災操作を行うよう、引き続き万全の体制を整えていきます。

（詳細はこちら） <http://www.water.go.jp/chubu/agigawa/ibent/ibent.html>

徳山ダム管理所

○ 国道417号横山鶴見バイパス開通で徳山ダムがより近く

10月17日、揖斐川町内を走る国道417号で建設を進めていた横山鶴見バイパスが開通しました。揖斐川町東横山から鶴見まで全長約1.3キロ。これにより、距離が2キロほど短くなり、徳山ダムへ快適に、スムーズに足を運べるようになりました。

この時期、徳山ダム周辺は紅葉の見頃を迎え、湖面に鮮やかな木々の姿を写しています。

この機会に、便利になった徳山ダムへぜひお越しください。



■晴天に恵まれた開通式（右）

横山鶴見バイパスの開通で徳山ダムがより近くなった。

○ 「徳山ふるさと会」で旧交を温め合って

10月21日、旧徳山村住民の方々が集い「徳山ふるさと会」が徳山会館にて開催されました。当日は、参加者の方々の心を表すかのような青空が広がり、徳山会館に到着するやいなや、徳山おどりの輪が広がっていました。旧塚地区まで徳山湖を船で往復し、懐かしい思い出話に花を咲かせ、旧交を温めているようでした。



■会うやいなや踊りの輪が広がって



■徳山湖めぐりへ

○ 10年以上続く、揖斐川町の子供たちによるコア山植樹活動

徳山ダムがある揖斐川町の子供たちは、授業の一環として徳山ダムでさまざまな体験活動をしています。春から大切に育てたどんぐり等の実のなる木の苗木を徳山ダム建設時の土の材料山（コア山）に植樹するのも活動の一つです。すでに10年以上続けられていて、里山を訪れる人の楽しみとなっています。



■ 10年以上続く揖斐川町の子どもたちによる



■ 子どもたちの成長と同様に楽しみだ

長良川河口堰管理所

○ 水辺の環境保全に向けて、水質事故対応訓練に参加しました

タンカーが座礁し、油まみれとなりで身動きできなくなった水鳥の姿をニュースで見た覚えのある方も多いと思いますが、魚などの生物が死に、水道用水の河川から取水できなくなるなど、大きな被害をもたらすのが水質事故です。

長良川河口堰管理所では、これまで以上に水質事故の迅速な対応、被害を最小限に収めたい、と、平成30年10月15日（月）、国営木曾三川公園船頭平河川公園内で開催された木曾川水系水質保全連絡協議会主催の「水質事故対応訓練」に参加しました。

当日は、実際に事故が起きたことを想定して、事故発生初期における措置、や現地でのオイルフェンスの展張、油類の硫化防止・回収、簡易水質測定など、さまざまな訓練を行い、水質事故対策の知識や技術向上をはかりました。

今後もこのような訓練に参加し、予期せぬ事故に対応できるよう努めていきたいと思っています。



■ オイルフェンスの展張訓練



■ 簡易水質測定訓練

味噌川ダム管理所

○ 準絶滅危惧種「ヤマトイワナ」を守る産卵場造りに協力

木曾地域では長年、木曾川水系在来の純系ヤマトイワナの保護する取り組みが行われています。味噌川ダム管理所は、木祖村が主催の水木沢天然林内の禁漁区にあるヤマトイワナ産卵場の造成に今年も協力しました。

イワナは、砂の上では卵が埋もれてしまうため産卵しません。そのためには、まず水深を深くし、産卵場に砂が流れ込まないように砂溜まりを併せて造らなくてはなりません。しかし川は狭く、また岩もあるため、重機を入れられません。そこで川底の掘削から、砂利を敷き、砂溜まりの造成まですべて人力で行いました。

産卵場の造成後には木曾地域の固有品種「ヤマトイワナ」の放流も行いました。

放流されたヤマトイワナは、味噌川ダムの上流で採取された固有品種のヤマトイワナを代々保護して数を増やした個体なため、遺伝子汚染無く生態系が守られます。ヤマトイワナは長野県版レッドリストでは、準絶滅危惧種に分類されています。希少な生態系を守る手伝いのできたことを誇りに思っています。



■人海戦術の産卵場造り

三重用水管理所

○ 三重用水の役割を子供たちに。四日市市立桜台小学校で出前講座

9月27日(木)、三重用水管理所は、三重用水土地改良区と共に、四日市市立桜台小学校で出前講座を行いました。4年生41名が、三重用水の役割、水の大切さについての講義に熱心に耳を傾け、職員一同、これからさらに水を大切にしてくれるものと、手応えを感じて帰ってきました。

三重用水管理所では、地域貢献の観点から、出前講座・施設見学を随時受付けています。お気軽にご連絡ください。

※お申し込み・お問い合わせ

(電話 059-393-2000)



■ 4年生41名が参加した出前講座の様子(右)

○ 次世代につなげるために。ホテルの里「赤川」の清掃活動

9月28日(金)、菰野調整池(きらら湖)直下流の赤川沿いの清掃・除草を行いました。これは、赤川において環境保全などについて地域活動を行っている「マコモの里自然に親しむ会」と協働で実施したものです。

赤川周辺は、ゲンジボタルやヘイケボタルが生息する三重県でも屈指の自然豊かな里です。三重用水管理所は、これからも水辺の生物たちが赤川で元気よく生活出来るよう定期的に清掃活動に取り組んでいきます。



■三重県でも屈指の自然豊かな赤川の清掃活動

岩屋ダム管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/iwaya/>
阿木川ダム管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/agigawa/>
徳山ダム管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/>
長良川河口堰管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/nagara/>
味噌川ダム管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/misogawa/>
三重用水管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/>

発行者：水資源機構中部支社